

委員会報告

総務文教委員会の
審議のあらまし

議案114号

「平成22年度高梁市一般会計補正予算(第4号)」

●委員 同窓会補助金は、要望が多いという理由で、今回補正予算を計上しているが、現在までの事業の状況はどうなっているのか。

◆執行部 8月末現在ですでに45件の申請が出ており、補助金額は約150万円となつて



有漢学校給食センター

政改革で、4センターから3センターへ再編を検討する中で、学校給食センター再編検討委員会でも審議をいただき、成羽学校給食センターの老朽化による改修経費等を考えると、経費の節減、学校給

いる。今後の見通しを勘案して今回200万円を追加する。この事業は、地域経済の活性化、ふるさと回帰のきっかけを目的としているが大変好評で、地域経済にも効果がある事業であると考えている。

●委員 学校給食センター再編に係わる設計監理委託料の内容と再編の理由について説明を求める。

◆執行部 第2次行財

食の意義、安全性に配慮することなどを踏まえ、3センターへ再編することになった。今回の補正は給食数が増える高梁、有漢の学校給食センターの施設の増改築等に係わる設計監理委託料を計上している。

請願第1号

「高梁市川上町佐屋地区を分離し井原市へ編入していただくことを求める請願」

本請願については、3月、6月の定例会の審査により継続審査としていた。今回の審査において委員から、佐屋地区の皆さんの願意に応えるべきで採択すべきとの意見や移行経費の負担割合等について、もう少し研究する必要がある、井原市と再度協議してほしいとのことから継続審査という意見があった。また一方で、今回執行部から提出された資

料により、境界線変更のために予想される必要経費や境界設定の考え方など、課題、問題点が明らかになり、移行のために高梁市から多額の経費が必要であること、また、社会通念上、示された境界設定の考え方は納得できない。願意は十分理解するものとしながら、高梁市全体の他地域のこととも考えたとき、市民の理解を得ることは、難しいのではないかと

いうことから、不採択とすべきという意見など活発な議論がなされた。

採決にあたり継続審査の動議があったが、賛成少数で否決となり、可否採決の結果、不採択と決した。

地域情報化事業調査
特別委員会の
審議のあらまし

議案第114号

「平成22年度高梁市一般会計補正予算(第4号)」

●委員 今回計上され

ている有線放送テレビ設置工事に伴う、支障移転工事補償金について詳しい説明を求める。

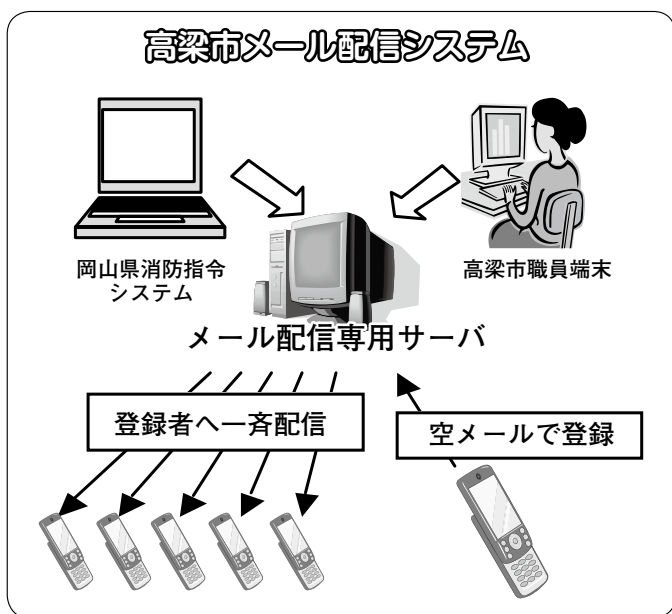
◆執行部 今回、お願いでいる支障移転工事補償金は、国道と県道の道路改良がそれぞれ1件発生したもので、今後もこういった道路改良の工事完了に伴う補償金は発生すると考えられる。

●委員 企画費で計上されている携帯電話を

使ったメール配信システムについて、今回なぜシステム変更をしたのか。

◆執行部 当初予算においては、独自でメール配信システムを構築する予定だったが、非常に安価な方法があるということがわかり、今回、事業費を2500万円から500万円に減額して予算を組み替えるものである。

高梁市メール配信システム





川上モデル農場「川上町世界のぶどう園」

◎委員 支障
枝木伐採委託料については、市内の幹線道路で、特にバスの通行に支障を来している状況であり、その伐採を行う委託料ということであるが、集落道路を各町内会等で草刈りをする際に

産業経済委員会の
審議のあらまし

議案1111号

「高梁市川上モデル農場条例」

◎委員 この条例は指定管理者制度の導入を視野に入れたものであるが、どのような形で指定管理を考えているのか。

◆執行部 指定管理者の指定にあたっては、地域性も考慮し、現在地域の中で活動してい

る団体を対象に、募集要項を定め公募したいと考えている。現在この農場の土地は借地料を払っており、指定管理者にはその支払いをしていただく。また、水温貯蔵庫を使用する場合は、使用料をいただく予定である。なお、管理委託料については、支払う予定はない。

議案第114号

「平成22年度高梁市一般会計補正予算(第4号)」

◎委員 支障

枝木伐採委託料については、市内の幹線道路で、特にバスの通行に支障を来している状況であり、その伐採を行う委託料ということであるが、集落道路を各町内会等で草刈りをする際に

は助成金制度がある。集落道路でも高所作業を伴う道路の管理に対して、同様の助成は考えていないのか。

◆執行部 近年そういう要望が多く寄せられており、高所作業を伴う道路管理については、新年度で予算を要求していきたい。

議案第122号

「平成22年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)」

◎委員 今回の補正予算で工事を予定している黒鳥簡水の未給水区域の現状について、説明を求める。

◆執行部 未給水区域は65世帯、165人となっている。この地区からは、平成17年頃から要望があり、現在でも漂流水を飲用に使用している世帯があることから、衛生面も考え、早急に工事を行い給水を開始したい。

市民生活委員会の
審議のあらまし

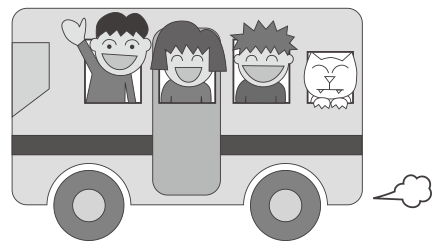
議案第112号

「高梁市学童保育条例の一部を改正する条例」

◎委員 高倉小学校の児童も川面小学校の学童保育を利用することになる。川面小学校の学童保育は特別教室を利用しており、独立した環境になっていない。他のところでも問題になっている。今後どのように解消していくのか。

◆執行部 特別教室を利用した学童保育は他にもあり、共通の課題と認識している。今後、教育委員会と協議を重ねていきたい。

◎委員 空き教室を利用するだけでなく、学校近くの空き家を利用するなど、児童がのびのびと生活できる場所を確保してほしい。



配慮してほしい。

◎委員 市民から高齢者や障害者の安心と安全を守るための救急医療情報キットの配布要望があるが、本市の取り組み状況はどうなっているのか。

◆執行部 今回の補正予算の中で、救急医療情報キットの購入経費をお願いしている。市内のひとり暮らし高齢者約1870人を対象に配布し、救急隊員が瞬時に必要な情報を把握でき、迅速な対応ができるということ、市民に安全・安心を提

議案第114号

「平成22年度高梁市一般会計補正予算(第4号)」

◎委員 高校生バス通学補助金に関して、市内の高校生で公共交通機関が利用できない生徒がいる。在学中だけでも公共交通機関による通学手段を確保することも必要ではないか。

◆執行部 昨年から地域公共交通会議の中で公共交通の空白地域を見直しており、その中の議論を踏まえ検討していきたい。

◎委員 今後、個別に発生する問題であるが、



サンプルの救急キット
(兵庫県相生市)

ようこそ高梁市へ

本市の行政調査のため、以下の議会が来庁されました。

☆8月30日 大分県杵築市
神原スポーツ公園多目的広場について

☆9月28日 愛媛県砥部町
川上景年記念館について

議会一口メモ

二元代表制とは

地方自治体では地域住民が議員を選ぶだけでなく、直接その地域の首長を選ぶことができます。首長と議員は両方が市民の代表であり、対等の立場でお互いが相手を監視し、正しい方向に進むようにアクセルを踏んだり、ブレーキを踏んだりして調整していきます。これが二元代表制です。市長には予算編成権など市政の執行権があるのに対し、議会には議決権があります。

議員研修会を開催しました

市議会では、議員の資質向上を目的として独自に議員研修会を開催することとしました。8月2日、14時から内閣府公益認定委員会委員で前滋賀県高島市長の海東英和氏を講師に招き、文化交流館講座室において第1回議員研修会を開催し、「事業仕分けと自治の未来」と題した講演を聞き、勉強しました。

民主党政権での事業仕分けに携われていることもあり、大変有意義で実りある研修会となりました。



編集後記

朝夕の冷え込みと、山々の彩りの変化に、秋の深まりを感じる季節となりました。

8月のうだるような日々、今年の酷暑を思い返しながら、時の移ろいの早さを感じています。

『高梁市議会だより』も2月の創刊号から、今回で4回目の発刊となりました。何分、不慣れた編集子による発刊ですので、レイアウトや文書表現など、まだまだ未熟な点が多々ございますが議会と市民をつなぐ、情報の架け橋となるよう、今後も研鑽を積んで参ります。

どうぞ、市民の皆さんの率直なご意見、ご感想を議会にお寄せいただきますようお願い申し上げます。

(宮田公人)

贈らない! 求めない! 受け取らない!

寄付行為等の 禁止について



公職選挙法により、政治家が選挙区内で寄付行為等を行うことは禁止されています。このため、市議会議員はお中元・お歳暮などを贈ったり、地域の行事に差し入れや祝儀を出すことはできません。選挙区内に暑中見舞いや年賀状を出すことも禁止されています。

また市民から市議会議員に対して、寄付を出すよう勧めたり、要求したりすることも禁止されています。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

「議会広報調査特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 川上 博司 |
| 副委員長 | 宮田 公人 |
| 委員 | 三谷 實 |
| 委員 | 三上 孝子 |
| 委員 | 小林 重樹 |
| 委員 | 森田 伸一 |
| 委員 | 宮田 好夫 |

☆ご意見はこちらまで

高梁市議会事務局

高梁市松原通2043

☎0866-21-0276